

とちぎの子どもの「確かな学力」向上のために

授業改善プラン

— 小学校 国語科 —

平成31（2019）年3月

栃木県教育委員会

とちぎの子どもの「確かな学力」向上のために
授業改善プラン　－小学校　国語科－

本資料では、「書くこと」と「読むこと」の領域において、これまでの全国学力・学習状況調査結果から課題の見られた内容を取り上げ、授業改善のポイント等を示しています。

「書くこと」　・・・ P. 1～10

「読むこと」　・・・ P. 11～20

「書くこと」

これまでの全国学力・学習状況調査結果から、「書くこと」の領域において、「調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと」に課題があるとされています。このことは、本県においても同様であり、出題の趣旨と学習指導要領における領域・内容を確認の上、学習指導の改善・充実に取り組む必要があります。

そこで、本資料では、平成28年度の調査問題から「書くこと」に関する問題を取り上げ、関連する教科書の単元を例に授業改善のポイントを提案します。

目 次

- 1 平成28年度全国学力・学習状況調査 小学校国語 B 2 について . . . P. 2、3
- 2 単元計画 (例) . . . P. 4
- 3 「書くこと」の授業改善のポイントについて
 - ◇ 身近にある資料を用いて、学習内容と日常生活とを関連付け、学習への関心・意欲を高めましょう。 . . . P. 5
 - ◇ 自分の考えを伝える上で、図表やグラフを用いることの効果について考えさせましょう。 . . . P. 6
 - ◇ 書き手が伝えたい内容に照らして、図表やグラフから分かることを捉えさせたり、それを用いた意図について検討させたりしましょう。 . . . P. 7、8
 - ◇ 例示などの取扱いに注意して、使用する図表やグラフを踏まえた適切な表現や効果的な文章構成等について指導しましょう。 . . . P. 9
 - ◇ 書いた文章を相互評価させ、助言し合わせましょう。 . . . P. 10

六年一組の高野さんの学級では、健康な生活のために「早ね早起朝ごはん」運動に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級のみんなに伝えることにしました。次は、高野さんが書いている【報告文の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果

アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることがわかりました。

〈図1〉のように、活動を始める前の五月の時点では、「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎて起きてくる人の割合が全国平均を上回り、早ねができていないはいえませんでした。それが半年間の活動後には、夜十時までにねる人の割合が

A

その理由として、〈表1〉から、「成長に大事なすいみんを十分にとるために、夜十時までにはねましよう。」という保健室の先生のお話みんなの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きできたかを記録する活動を行ったこともあげられます。

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改善できず、これから解決していききたい課題があることがわかりました。

課題は〈図2〉から分かるように、

B

この課題を解決するためには、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが〈表2〉から分かかります。

3 解決方法

そこで、わたしたちは多くの人を取り組める次のような解決方法を考えました。

C

・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。

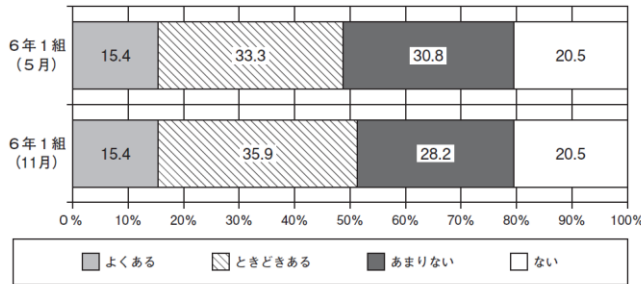
今後は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思っています。

○「朝ごはん」活動について

（報告文が続く）

〈図2〉

次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時刻が2時間以上おそくなることはありますか。



〈表2〉

ねる時刻が2時間以上おそくなる理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友達とメールなどをしていいるから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなも起きているから。	4人
その他	7人

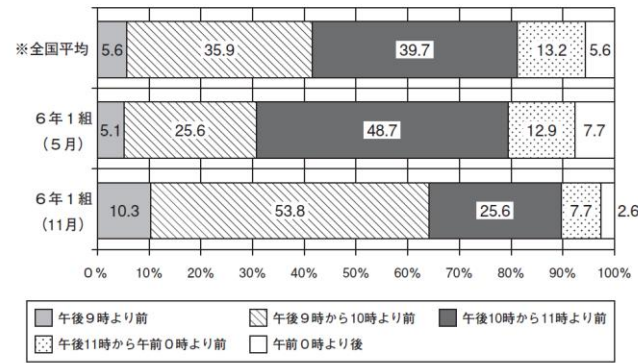
〈表1〉

早ねをするようになった理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

保健室の先生のお話から、すいみんが成長に大事だと分かったから。	23人
毎日体を動かしたら、早くねられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
早ねを毎日続けるようにしたら習慣になったから。	8人
早ねをしたら授業に集中できるようになったから。	5人
その他	11人

〈図1〉

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。



(※全国平均は、文部科学省「平成26年度家庭教育の総合的推進に関する調査研究—睡眠を中心とした生活習慣と子供の自立等との関係性に関する調査—」に基づく。)

一 高野さんは、「1 成果」について(図1)を用いて書くこととしています。A の中に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 五月の結果を下回り、三十パーセント程度になりました
- 2 五月の結果より減り、四十パーセント以下になりました
- 3 五月の結果より増え、六十パーセントをこえました
- 4 五月の結果を上回り、十パーセント程度になりました

出題の趣旨 グラフを基に、分かったことを的確に書く。

二 高野さんは、「2 課題」と「3 解決方法」について書くこととしています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 高野さんは、「2 課題」について(図2)を用いて書くこととしています。B の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

出題の趣旨 目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く。

- 〈条件〉
- (図2)の結果から考えて書くこと。
 - 書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

課題は (図2) から分かる ように、

〔正答例〕

・次の日に学校がない日は、学校がある日に比べてねる時こくが二時間以上おそくなる人のわり合が減っていないことです。
 (五十六字)

(2) 高野さんは、「2 課題」を受け、多くの人が取り組めることを考えて「3 解決方法」を書くこととしています。C の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

出題の趣旨 目的や意図に応じて、表を基に自分の考えを書く。

- 〈表2〉の結果から考えて書くこと。
- 「テレビやゲーム」と「メールなど」の両方の言葉を使って書くこと。
- 二十五文字以上、五十文字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

〔正答例〕

・ねる時こくがおそくならないように、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間を決める。
 (四十三字)

三 高野さんは、「早ね早起き」活動のまとめの中で、「1 成果」だけではなく、「2 課題」も取り上げて書きしました。課題を取り上げた効果の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

出題の趣旨 活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える。

- 1 問題点を解決しながら、さらに成果が上がる活動につなげることができる。
- 2 活動に取り組むよすがが明らかになり、それを多くの人に広めることができる。
- 3 この活動に取り組み始めるようになった、最初のきっかけに気づくことができる。
- 4 成果が強調されて、この活動の必要性をより強く感じることができる。

	栃木県	全国
正答率	56.2%	58.3%
無解答率	3.1%	4.2%

	栃木県	全国
正答率	62.9%	64.2%
無解答率	6.9%	7.7%

	栃木県	全国
正答率	47.6%	51.4%
無解答率	6.1%	6.7%

	栃木県	全国
正答率	41.0%	43.6%
無解答率	0.8%	1.2%

学習指導要領における領域・内容
 (第5学年及び第6学年)
 B 書くこと イ
 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

学習指導要領における領域・内容
 (第5学年及び第6学年)
 B 書くこと 工
 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

2 単元計画（例）

児童に、身に付けさせたい力を育成するためには、単元全体を通して指導の充実を図っていく必要があります。ここでは、光村図書と東京書籍の関連する単元計画の例を基に、本資料の関連するページを示しましたので、各学校における指導計画に照らして活用してください。

「グラフや表を用いて書こう」 光村図書 5年

この単元では、「わたしたちが、今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうか」を考え、自分の考えに合った統計資料などのグラフや表を用いて文章を書く活動を行います。

- 1 「天気を予想する」での学習を生かし、「グラフや表を用いて、くらしについての意見を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。
- 2 「今、生きている社会はくらしやすい方向に向かっているか」について、グループで意見を交流する。
- 3 教科書P.150～151のグラフや表も参考にしながら、自分の考えに合った資料を集め、考えたことをまとめる。
- 4 グラフや表を用いて、意見を文章に書く。
 - ・教科書P.152の例文を読む。
 - ・「自分の考え」「グラフや表の説明とそれをもとに考えたこと」「まとめ」の組み立てで、何を、どの順序で書くか決める。
 - ・教科書P.153「たいせつ」を確認する。
- 5 書いた文章を友達と読み合い、考え方や文章の書き方、表やグラフの使い方について、意見や感想を交流する。



P. 5



P. 6



P. 8



P. 9



P.10

出典 「『小学校 国語』年間指導計画・評価計画資料【5年】（光村図書）」

「資料を生かして考えたことを書こう」 東京書籍 5年

この単元では、海岸の環境を守ることをクラスの人に呼び掛けるために書いた文章と、その文章を基に作成したポスターの□の部分に入れる見出しや文章などについて、図表やグラフを活用して考える活動を行います。

- 1 資料を読み取り、そこから得た情報を基にポスターを完成させる、という学習課題を確かめる。
- 2 教科書P.99の資料からどのようなことが分かるか話し合い、資料を読み取る際に気を付けることを確かめる。
- 3 教科書P.100～101の木谷さんの文章を読み、P.99の資料と見比べながら、アやイの中に入る文章を考えて書き入れる。
- 4 教科書P.102のポスターを見て、P.100～101の文と見比べながら、ウ、エ、オに入る文や文章を考えたり、資料を選んだりする。
- 5 資料を読み取り、そこから得た情報を基にポスターを完成させることができたかを振り返る。



P. 5



P. 7



P.10

出典 「『新編 新しい国語』指導計画作成資料【5年】（東京書籍）」

3 「書くこと」の授業改善のポイントについて

◇身近にある資料を用いて、学習内容と日常生活とを関連付け、学習への関心・意欲を高めましょう。

単元の導入においては、学習内容への関心や学習活動への意欲を高めるとともに、これから学習することの必要性や日常生活における有用性を実感させることが大切です。

児童の身近にある広告やパンフレット、学校のお知らせなど、図表やグラフを用いた資料を素材として取り上げたり、それらの資料を作成した目的や必要性、筆者が図表やグラフを用いた意図について考える活動を取り入れたりすることにより、実感を伴った理解につながるよう工夫しましょう。

【学習活動の例】

「保健だより」や「図書だより」など、学校で発行している通信を使って、学習することと日常生活との結び付きを考えさせる。

「資料を生かして考えたことを書こう」東京書籍5年・「グラフや表を用いて書こう」光村図書5年

授業の準備物

- ・図表やグラフが入っている「保健だより」や「図書だより」など（印刷して配布）
- ・養護教諭や図書委員会担当へのインタビューを撮影した動画

保健だより



図書だより



ここに、「保健だより」と「図書だより」があります。二つの「おたより」に共通しているのは、どんなことですか。

どちらもグラフを使っています。



では、なぜグラフを使っているのでしょうか。

→ 児童とのやりとりの後、「おたより」を作成した先生方に対してグラフを用いた意図や目的についてインタビューした動画を視聴させます。

お二人の先生とも、はっきりとした意図や目的をもってグラフを用いていましたね。また、ほとんどの皆さんは、「グラフがあることで、文章だけのときより分かりやすくなった」と感じていましたね。グラフを用いることは、自分の考えが伝わるように書く上で有効な方法だと言えますね。

→ これまでに学習した説明文にも、図表やグラフを用いて説明しているものがあつたことを想起させたり、他教科や総合的な学習の時間との関連を意識させたりするような問い掛けをします。

この単元では、自分の考えを図表やグラフを用いて書くことについて学習します。それでは、今後の学習の流れについて確認しましょう。

【留意点】

具体物を提示して考えさせることで、図表やグラフを用いた資料が、私たちの生活の中にたくさんあることを実感させるようにします。また、他の教科で学習した図表やグラフが活用されている教材を想起させたり、総合的な学習の時間のまとめで図表やグラフを用いる場合があることを伝えたりするなど、他教科の学習との関連を意識させることも重要です。

このような活動を通して学習への関心を高めた上で、単元全体の流れを確認し、学習の見通しをもたせることが大切です。

◇自分の考えを伝える上で、図表やグラフを用いることの効果について考えさせましょう。

図やグラフを用いれば、考えが伝わりやすくなるかと言えば、必ずしもそうとは限りません。「図表やグラフを用いる」のは、示すべき事実が、図解したり、表形式やグラフ形式で示したりする方が一層分かりやすい場合です。実際に資料を作成する際には、この点の検討が必要となります。導入の段階で、図解したり、表形式やグラフ形式で示したりすることにより、分かりやすさにどのような違いが生じるのかを、教科書で例示された文章などを用いて十分に検討する時間を設定しましょう。

【学習活動の例】

図表やグラフを用いて説明している教科書の文章と、図表やグラフを用いずに説明している文章とを比較させることにより、図表やグラフを用いて書くことの効果を考えさせる。

「グラフや表を用いて書こう」光村図書5年

授業の準備物

- ・次の2種類の資料を準備する

資料A：図表やグラフを用いて説明している教科書の文章

資料B：図表やグラフを用いずに説明している文章

※資料Aの教科書の文章からグラフを取り除き、グラフの内容に関連する部分について言葉で補足したもの

〔学習活動〕

- 図表やグラフを用いて説明している教科書の文章（資料A）と、図表やグラフを用いずに説明している文章（資料B）を比較し、伝わりやすさの違いを考える。



次の二つの文章を比べてみましょう。図表やグラフがある文章とない文章とは、伝わりやすさはどのように違いますか。

資料A

社会は、くらしやすい方向に向かっている。
中川 あおい

資料B

社会は、くらしやすい方向に向かっている。
中川 あおい



比較

【留意点】

資料Aと資料Bを比較させる際、グラフの有無によって、分かりやすさにどのような違いが生じるか、また、グラフがある場合、どの部分が分かりやすくなっているのかなど、具体的に検討させます。

児童は、本単元に入る前に、グラフや写真などの映像資料や図表を用いて筆者の考えを展開している説明的な文章について学習しています。映像資料や図表がどのような役割を果たしていたかなどを想起させることも有効です。

◇書き手が伝えたい内容に照らして、図表やグラフから分かることを捉えさせたり、それをを用いた意図について検討させたりしましょう。

教科書の教材には、環境問題等、設定されたテーマに関連する図表やグラフが掲載されており、これらから何が分かるのかを考えさせる学習が示されています。このとき、図表やグラフから分かることだけを考えさせるのではなく、書き手の関心や伝えたいことなどに関連付け、それらを用いる意図や有効性等について考えさせたり、自分の考えを伝える上でどのような資料が必要かを検討させたりすることが重要です。図表やグラフに目を向けさせる際の教師の問い掛けを工夫しましょう。

【学習活動の例】

教科書の図表やグラフを用いて、書き手がどのようなことを伝えようとしているか、また、資料の種類によって伝わり方にどのような違いがあるかについて考えさせる。

「資料を生かして考えたことを書こう」東京書籍5年

授業の準備物

・教科書P.99の四つの資料を拡大した掲示物(黒板に貼る)

【資料を集めた意図や目的を考えさせる問い掛けの例】



木谷さんが資料を集めたのは、どのような思いがあったからでしょうか。

→書き手が資料を集めようと思った動機を確認させます。



木谷さんは、いろいろな資料の中からこの四つの資料を選んだんですね。それぞれの資料を用いて木谷さんが伝えたいことは、どんなことだと思いますか。

→書き手が四つの資料を選んだ意図や目的について考えさせます。

資料(3) 海岸や河原の清そう活動で1年間に回収されたごみの総量	資料(1) 清そう活動のときに、海岸でとった写真
資料(4) プラスチックの輪が外れず、えさをとれなくなったアザラシの写真	資料(2) 海岸や河原で回収されたごみの種類ごとの割合
教科書P.99の四つの資料	

【資料による情報の質の違いについて考えさせる問い掛けの例】



木谷さんが集めてきた資料には、図表やグラフ、写真がありますね。資料の種類により、「読み手に伝えられること・伝えにくいこと」にはどのような違いがあるでしょう。それでは、資料(1)の写真と資料(3)の図を比べてみましょう。

→それぞれの資料の情報の質について「読み手に伝えられること・伝えにくいこと」という観点から、具体的に資料を比較させます。

【留意点】

教科書にある四つの資料は、木谷さんが「海岸の環境保護についてもっと知りたい」という意図から集めたものであることを踏まえ、それぞれの資料を用いてどのようなことが伝えられるのかについて検討させます。

資料による情報の質の違いについて考えさせる場合には、書き手の意図を踏まえた上で、観点を設けて図表やグラフ、写真などを比較させるようにします。このように、書き手の立場に立って思考させるよう問い掛けを工夫することが大切です。

「グラフや表を用いて書こう」光村図書5年

授業の準備物

・教科書P.150～151の四つの資料を拡大した掲示物(黒板に貼る)

【資料の中から一つを取り上げ学級全体で検討した後、他の資料について検討させる問い掛けの例】

中川さんたちが集めてきたグラフや表は、「今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうか」について自分の考えを書くための資料であることを確認させます。



資料D「電話の加入数の推移」のグラフから、どのようなことを読み取ることができますか。また、このグラフは、「くらしやすい」「くらしにくい」どちらの立場の資料として用いることができますか。

→同じ資料でも、注目する部分や解釈の仕方によっては「くらしやすい」「くらしにくい」のどちらの立場の資料としても用いることが可能であることを押さえます。

資料C 日本の年齢別人口	資料A ごみの総排出量の推移
資料D 電話の加入数の推移（固定電話、携帯電話【携帯電話など】）	資料B 平日の生活時間（平均）

教科書P.150～151の四つの資料

【四つの資料、全部について検討させる問い掛けの例】



それぞれの資料は、「くらしやすい方向に向かっている」「くらしやすい方向に向かっていない」のどちらの考えを裏付けるものと考えられますか。なぜ、そう考えられるのか、その理由をグラフや表から読み取れることを基に説明しましょう。

→自分の立場を明らかにした上で、自分の考えとグラフや表から読み取ったことを比べ合わせ、確かめさせます。

【留意点】

グラフや表を用いる際に、注目する部分や解釈によって、主張する内容が異なってくる場合があることを学級全体で確認させます。

複数のグラフや表が示されている場合は、それぞれの資料でどのようなことを伝えることができるのかを確認し、自分の考えがより明確に伝わるようにするために、どの資料を選択すればよいかについて考えさせます。また、必要に応じてグラフや表を読み取る際の着眼点についても指導することが大切です。

◇例示などの取扱いに注意して、使用する図表やグラフを踏まえた適切な表現や効果的な文章構成等について指導しましょう。

資料を活用して自分の考えを伝える際には、文章を書く目的を明確にして、「伝えたい内容」が効果的に読み手に伝わるよう、見出しや図表やグラフの提示の仕方、文章構成について検討することが大切です。指導に当たっては、教科書の文章を使って資料を活用するときの留意点を押さえることが有効です。

書き方のポイントを知識として与えるのではなく、教科書の文章を使いながら、そのポイントや構成の効果等について十分検討させるようにしましょう。

【学習活動の例】

教科書の文章を使って書き手の意図を確認させるとともに、文章全体の構成の仕方や図表やグラフを用いた示し方など、文章を書くときの工夫について考えさせる。

「グラフや表を用いて書こう」光村図書5年

授業の準備物

・教科書P.152～153で例示された文章を拡大した掲示物(黒板に貼る)

【文章全体の構成の工夫について考えさせる際の問い掛けの例】

- ・まず、中川さんが「社会は、くらしやすい方向に向かっている」という立場であることを確認させます。



中川さんが、自分の立場がより明確に伝わるように文章の書き方を工夫しているところがあります。教科書の文章の中から探してみましょう。

→書き手の立場や考えが明確に伝わるかという観点から、文章の構成に眼を向けさせます。

【図表やグラフを用いた説明の仕方について考えさせる際の問い掛けの例】

- ・図表やグラフを用いてどのように説明しているかを、教科書の文章で確認させます。



教科書P.152下の「グラフや表を説明するとき」の①～④について、それぞれ当てはまる文はどれか考えてみましょう。

「グラフや表を説明するとき」

- ① 何を表すグラフや表なのかを、まず述べる。
- ② グラフや表の中の情報が、何を示しているか説明する。
- ③ 注目する言葉や数字を示す。
- ④ 注目する言葉や数字から、考えられることを述べる。



③の「注目する言葉や数字」について、中川さんは、2001年と2010年の排出量の差に注目して文章を書いています。なぜ、その部分に注目したのでしょうか。

→文章中のグラフ等に関する「言葉や数値」に着目させ、書き手の立場に立って示した意図を考えさせます。

【留意点】

教科書の文章を使って文章全体の構成を考えさせる学習では、書き手の考えが明確に伝わる文章になっているかという視点で読ませるとともに、構成を工夫しているところについて、教科書の例文中から具体的に指摘させるようにします。

図表やグラフを用いた説明の仕方について考えさせる学習では、教科書に示された①～④に当てはまる部分を例文中から具体的に指摘させるとともに、書き手が注目した数値に目を向けさせ、その意図を問うなど、問い掛けを工夫することが大切です。

◇ 書いた文章を相互評価させ、助言し合わせましょう。

これは、学習指導要領では「書くこと」の推敲・交流に関する指導事項です。互いが書き上げた文章を読み合い、そのよさについて感じ取ることを大切にしながら推敲させたり、交流させたりしましょう。図表やグラフを用いて書くときの留意点について、書く目的、意図に応じた文章構成や表現になっているかどうかなど、単元を通して学習してきたことを振り返りながら、具体的に助言し合うようにすることが重要です。このような活動を通して、自分の考えを深めたり表現の参考にしたりすることに留意させることも大切です。

【学習活動の例】

学習してきたことを基に、書いた文章を読み合い助言し合う活動を通して、相手に、より伝わる文章の書き方について考えさせる。

「資料を生かして考えたことを書こう」東京書籍5年・「グラフや表を用いて書こう」光村図書5年

〔学習活動〕

○ 書いた文章を友達と読み合い、相互評価する。

- 1 単元を通して学習してきたことを確認する。
 - ・単元を通して学習してきたことを教科書やノートで振り返らせ、学級全体で確認する。

「単元を通して学習してきたこと」（確認することの例）

- ・自分が伝えたいことに合った資料（図表やグラフ）を選ぶこと。
- ・図表やグラフと文章を対応させて書くこと。
- ・図表やグラフを効果的に用いて書くこと。
- ・資料から分かることと、自分が考えたことを分けて書くこと。
- ・文章全体の構成を工夫して書くこと。

- 2 友達が書いた文章を読み合い、相互評価する。



書いた文章を友達と読み合い、よく書けている点やアドバイスを伝え合いましょ
う。先ほど確認した「単元を通して学習してきたこと」を基に、文章で書いて伝え
ます。では、書くときのポイントを確認しましょう。

よく書けている点やアドバイスを書くときのポイント

- ・「単元を通して学習してきたこと」に関する言葉を入れて書きましょう。
- ・よく書けている点について、言葉や文章を引用しながら○つ取り上げて書き
ましょう。
- ・さらによい文章にするためのアドバイスを○つ書きましょう。
- ・○○字～○○字で書きましょう。

→さらによい文章にするためのアドバイスをさせる際は、修正すべき内容ととも
に、どのように書き換えればよいかを具体的に示させるようにします。

- 3 学習活動2で友達からもらった、よく書けている点やアドバイスなどを基に、自分が
書いた文章を見直す。

【留意点】

相互評価を行う際は、単元を通して学習してきたことを評価の観点にするなど、学習してき
たことを振り返りながら具体的に助言するようにします。また、感想を口頭で伝え合うだけ
なく、文章にして整理することも大切です。その際、観点に関する言葉を入れさせたり、取
り上げる内容や数を指定したりするなど、条件を設定して書かせることも考えられます。

授業の準備物

- ・図表やグラフを用いて児童が書いた文章
- ・相互評価させるための評価カード

「読むこと」

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から、本県では、「読むこと」の領域において、「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめること」に課題があることが分かりました。課題の解決を図るためには、出題の趣旨と学習指導要領における領域・内容を確認の上、学習指導の改善・充実に取り組む必要があります。

そこで、本資料では、平成29年度全国学力・学習状況調査から、「読むこと」に関する問題を取り上げ、関連する教科書の単元「大造じいさんとガン」を例に授業改善のポイントを提案します。

目 次

- 1 平成29年度全国学力・学習状況調査 小学校国語 B [3] について . . . P.12、13
 - 2 単元計画（例） 5年「大造じいさんとガン」 . . . P.14
 - 3 「読むこと」の授業改善のポイントについて
- ◇ 単元の学習課題とその解決に向けた学習活動の流れを児童と共有し、単元全体の学習に見通しをもたせましょう。 . . . P.15
 - ◇ 表のつくりを目を向けさせたり、表の有効性を実感させたりすることにより、表にまとめて考えることのよさに気付かせるようにしましょう。 . . . P.16
 - ◇ 登場人物の心情を暗示している表現について、身近な例を用いて理解を深めさせましょう。 . . . P.17
 - ◇ 「情景描写」が暗示する登場人物の心情を考える学習の際、根拠となる叙述とともに解釈（理由）も示させるようにしましょう。 . . . P.18
 - ◇ 優れた叙述について、注目した言葉や表現についての解釈を示すとともに、その解釈を踏まえ、工夫して音読させましょう。 . . . P.19
 - ◇ 単元のまとめでは、これまでの学習を踏まえて学習課題に取り組みせるとともに、身に付けたことを確認させましょう。 . . . P.20

- ・ **参考** 「大造じいさんとガン」みりよく新聞

1 平成29年度全国学力・学習状況調査 小学校国語B 3 について

3

大岩さんの学級では、あまんきみこさんが書いた「きつねの写真」という題名の物語を読み、それぞれが考えたことについて、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は、【物語の一部】と【話し合いの様子の一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ

こんざ山に、松ぞうじいさんという木こりが孫のとび吉とびきちと二人で住んでいました。そこに、山野さんという新聞記者がきつねの写真をとりに来ました。

【物語の一部】 ①・②・③・④・⑤の内容は、あとの【話し合いの様子の一部】で取り上げられます。

(あまんきみこ「きつねの写真」による。)

【話し合いの様子の一部】

(あまんきみこ「きつねの写真」による。)

横山 あまんきみこさんの「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。

原 ③を示しながら「あたりの木がいつせいにぎざっとゆれてよびました」というところで

A 感じがすると思ったんだけど。

大岩 そうだね。 A ことといえば、松ぞうじいさんととび吉はきつねだったのかな。

田中 二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きつときつねだよ。

ア
どこからそう思うの。

田中 ④を示しながら「山野さんは、むかいあったふたりをぱちりとうつしました」とあるでしょ。

横山 そうだね。それに、⑤を示しながら「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。

原 二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。

大岩 きつときつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあるかな。

田中 ②を示しながら「ここで、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけど、どうかな。

原 私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、

田中 案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことではないのかな。

イ

田中 そうそう。

横山 ①を示しながら「ここにもあるよ。」

「人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、

もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わな

田中 いと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。

そこから、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

ㄥ (話し合いが続く) ㄥ

B

一【話し合いの様子の一部】の **A** の中に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 にぎやかな
2 不思議な
3 かわいいそうな
4 親切な

出題の趣旨 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることができるかどうかをみる。

二【話し合いの様子の一部】の中の~~~~部ア・イの発言は、この話し合いの中で、それぞれどのような意図がありますか。最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 考えのもととなる文章中の表現を明らかにしようとしている。 **ア**
2 言葉の意味が理解できず、その意味を知ろうとしている。
3 今まで出ていない考えを引き出そうとしている。
4 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしている。 **イ**

出題の趣旨 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることができるかどうかをみる。

	栃木県	全国
正答率	24.7%	28.0%
無解答率	2.1%	3.2%

	栃木県	全国
正答率	76.5%	75.9%
無解答率	1.6%	2.6%

学習指導要領における領域・内容〔第5学年及び第6学年〕
C 読むこと 才
本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

学習指導要領における領域・内容〔第5学年及び第6学年〕
C 読むこと 工
登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

三【話し合いの様子の一部】の中の **B** のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

出題の趣旨 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- 〈条件〉
- の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。
※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

〔正答例〕

・「松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました」というところは、人間にうちとられてしまった仲間のきつねを思う気持ちが表れていると思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えたよ。

	栃木県	全国
正答率	44.8%	43.8%
無解答率	18.3%	19.4%

学習指導要領における領域・内容〔第5学年及び第6学年〕
C 読むこと 工
登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
B 書くこと ウ
事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

2 単元計画（例） 5年「大造じいさんとガン」

児童に、身に付けさせたい力を育成するためには、単元全体を通して指導の充実を図っていく必要があります。ここでは、光村図書と東京書籍の「大造じいさんとガン」の単元計画（例）と本資料の関連するページを示しましたので、各学校における指導計画に照らして活用してください。

光村図書 5年

学習 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう。（教科書P.132）

- 1 学習の見通しをもつ。
- 2 登場人物の関わりによって変化する心情を読み取り、ノートにまとめる。
- 3 「大造じいさん」の「残雪」に対する見方が大きく変わった場面を探し、理由とともに話し合う。
- 4 情景が効果的に描かれた部分から人物の心情を考えるとともに、印象に残った表現とその理由をまとめる。
- 5 物語の魅力のまとめ方を確認し、自分の感じた魅力を伝えるために工夫してまとめる。
- 6 物語の魅力について、友達の発表を聞き、自分と比べて感想を交流する。
- 7 学習を振り返る。

➡ P.15

➡ P.16

➡ P.16

➡ P.17

P.18

➡

P.19

P.20

➡

出典 「『小学校 国語』年間指導計画・評価計画資料【5年】（光村図書）」

東京書籍 5年

てびき ◇場面の様子や風景の描写をとらえ、人物の心情について考える。
◇人物の心情が表れるように朗読する。（教科書P.233）

- 1 「大造じいさんとガン」を通読し、人物の心情の変化を読み取り、強く印象に残った場面を朗読で表現するという学習課題をつかむ。
- 2 場面の展開や描写を手がかりに、人物の心情の変化をとらえる。
- 3 最も強く心に残った場面を選び、人物の心情が表れるように朗読する。
- 4 自分が捉えた人物の心情を朗読で表現することができたかを振り返る。

➡ P.15

➡ P.16

➡ P.17

P.18

➡

P.19

P.20

➡

出典 「『新編 新しい国語』指導計画作成資料【5年】（東京書籍）」

3 「読むこと」の授業改善のポイントについて

◇単元の学習課題とその解決に向けた学習活動の流れを児童と共有し、単元全体の学習に見通しをもたせましょう。

読むことの学習においては、本文の後に「学習」や「てびき」などとして、具体的な学習活動が複数、示されています。それらに沿って学習を進める際、単元のまとまりを通じて育成する力が意識されていないと、それぞれの学習がつながりが乏しいものになってしまう場合があります。

単元の導入では、単元全体を通じて解決する学習課題を明確にし、単元を通してどのような学習活動を行うのか、単位時間ごとの学習活動が、単元全体の学習課題の解決にどのようにつながっていくのかなどについて児童と共有し、見通しをもたせることが大切です。

【学習活動の例】

これまでの読むことの学習の振り返りを踏まえ、本単元における学習内容と学習課題、学習の流れを確認することで、単元全体の学習について見通しをもつ。

○単元全体の学習の見通しをもたせる。

【学んできた学習内容を想起する】



今日から、「大造じいさんとガン」という物語文を読んできます。皆さんは、3年生では「白いぼうし」を、4年生では「プラタナスの木」を学習しましたね。それぞれの物語について、どんなところが印象に残っていますか。（光村図書）

〔予想される児童の反応〕

- ・「白いぼうし」は、松井さんに不思議なことが起こるお話で楽しかった。
- ・「プラタナスの木」のおじいさんは、プラタナスの木の分身のように感じた。 など

※ 教師が、既習の学習内容を物語のストーリーの面白さや登場人物の性格や特徴などの着眼点ごとに大まかに分類しながらまとめます。

【単元の学習の流れを確認する】

「『みりよく新聞』づくり」を単元全体の学習課題として設定した事例



3年生や4年生の物語文の学習では、場面の移り変わりに気を付け、登場人物の性格や気持ちの変化などを捉えてきました。今回の学習のポイントは、物語の表現に着目しながら、登場人物の心情などを捉えていきます。

教科書のP.〇〇の「学習」（「てびき」）の欄を見てください。そこに示されているように、表現に着目しながら登場人物の心情の変化を表を使って考えたり、好きな場面を選んで音読をしたりします。そして、単元全体の学習を通して、「優れた表現」について分かったことや気付いたことを『みりよく新聞』【巻末資料参照】としてまとめ、紹介する活動を行います。

※ 第5学年及び第6年生の指導事項「C 読むこと 工」の「登場人物の相互関係や心情場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」に基づいた学習課題を設定しています。

【留意点】

物語を読み、面白さを感じたり心が引かれたりする点は、ストーリーであったり登場人物であったり、様々です。本事例では、「『みりよく新聞』づくり」という学習課題を設定し、目的をもった読みとなるよう工夫しています。これまでの文学的な文章の学習から一歩進んで、「描写をとらえ、優れた叙述について考えをまとめること」が学習の中心であることを意識させるとともに、各単位時間の学習が『みりよく新聞』というゴールにつながることをイメージさせ、学習意欲を高めるようにします。

◇表のつくり目に向けさせたり、表の有効性を実感させたりすることにより、表にまとめて考えることによさに気付かせるようにしましょう。

登場人物の心情の変化を捉える際に、表にまとめて考えさせることがあります。しかし、表を完成させることが活動の目的になってしまい、作成した表が十分に活用されない場合も見られます。

学習活動に入る前に表を作る目的を明確に押さえるとともに、作成した表を基に思考する学習活動を設定することが大切です。主体的な学習となるよう、表のつくり目について着目させたり、表の有効性を実感させたりする活動を取り入れることも考えられます。

【学習活動の例】（2時間扱い）

表のつくり目に着目させた上で、登場人物の心情を表にまとめ、心情の変化を捉える。

○表を作成する前の段階で

本時のめあて

残雪との関わりの中で、大造じいさんの心情がどのように変化していくか、まとめよう。

〔表をつくる目的を押さえる問い掛けの例〕

表の項目と本時のねらいとの関係を説明させるような活動を行います。



本時のめあてと表の項目とを見比べて、気付いたことを発表してください。

〔表のつくり目に着目させる問い掛け〕

例1：一番上に、「場面」の欄を作っているのはどんな考えからでしょう。

例2：「大造じいさんの心情」だけではなく、なぜ、残雪についての項目も入っているのでしょうか。

〔表にまとめて考えることによさに気付かせる問い掛け〕

例：表の形で一枚にまとめることには、どのようなよい点がありますか。

2	1	場面
		残雪の様子や行動
		大造じいさんの心情

光村図書5年（P.132）

○表を作成した後で

〔作成した表を活用して考えさせる学習活動の例〕

例1：大造じいさんの残雪に対する心情は、物語の最初と最後でどのように変化したか、作成した表を使い、具体的な場所を示しながら説明する。

例2：大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わった場面はどこか、表で具体的なところを示しながら、なぜそう考えたのか、理由とともに話し合う。

※ 大造じいさんの心情の変化を考えさせる際は、心情を表す表現などに目に向けさせることが大切です。

【留意点】

児童は、読み取った内容等を表にまとめる活動を低学年から経験しています。目的に照らして表を活用する力の育成に向け、既習の学習を振り返らせたり、どのような表にすればよいかを考えさせたりする活動を積極的に取り入れるようにします。また、表ばかりではなく、登場人物の心情の変化が可視化できるような方法について工夫することも大切です（例：大造じいさんの残雪に対する気持ちをグラフ化する。）。作成後は、物語全体を見通したり、複数の叙述を関係付けたりするなど、ねらいの達成に向け、表を十分に活用した学習活動を行うようにします。

◇登場人物の心情を暗示している表現について、身近な例を用いて理解を深めさせましょう。

学習指導要領解説には「登場人物の心情は、直接的に描写される場合もありますが、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合もあること」「このような表現の仕方にも注意し、想像を豊かに読むことが大切であること」と示されています。

「大造じいさんとガン」でも、情景描写により、大造じいさんの心情が暗示的に表現されていますが、児童にとっては理解が難しいところです。児童が見通しをもって学習活動が進められるよう、教材文を扱う前に身近な例で情景描写について理解させ、着眼点などをもたせることが有効です。

【学習活動の例】

情景が効果的に描かれた部分から、人物の心情について考える。

○情景が効果的に描かれた部分から人物の心情を考えるとともに、印象に残った表現とその理由をまとめる。

【身近な例を用いて、情景描写について理解させる】



この二つの例にある「窓のカーテンを開けた」人物の心情を想像してみましょう。

例文 1

○ まどのカーテンを開けた。
まぶしく明るい朝の光が庭の花だ
んの花々にふり注いでいた。

例文 2

○ まどのカーテンを開けた。
冷たい風が葉をすっかり落とした街
路じゅのえだをゆらしていた。



例文 1 の人物は、これから始まる一日にわくわくしていると思
います。

例文 2 の人物の方が、気持ちが暗い感じがします。



【教科書を使って情景描写について確認させる】



二つの例文とも、人物の心情は書かれていないけ
れど、皆さんよく想像することができましたね。で
は、教科書のP.134「たいせつ」を見てください。
(東京書籍では、P.235「言葉の力」)
[教科書を使っての確認 -略-]

【物語文中の情景描写について捉えるよう指示する】



では、「大造じいさんとガン」で、登場人物の思
いが情景などを通して表現されているところを探し
て、大造じいさんの思いに迫っていきましょう。

● 優れた表現に着目する
場面の様子や風景をえ
がいた表現からも、人
物の心情や性格を想像す
ることができると、このよ
うな情景をえがいたよう
な、情景をえがいたよう
な、情景をえがいたよう
に読み取ることができま
す。

光村図書 5年 (P.134)

【留意点】

「情景描写」の効果等について児童が実感を伴って理解することができるよう、身近な例やこれまで学習した物語を扱うことも考えられます。その際、いくつかの例を示して、それぞれの情景描写が暗示する心情等について、想像させます。そのような活動を通じ、表現の仕方に着目して読むことの楽しさを感じさせたいものです。教材文を取り扱う際には、その表現がある場合とない場合で印象がどう変わるかなど、比較させることにより、言葉への気付きを促すようにします。

◇「情景描写」が暗示する登場人物の心情を考える学習の際、根拠となる叙述とともに解釈（理由）も示させるようにしましょう。

場面における登場人物の心情を捉える際、どの部分から捉えられるか、根拠となる叙述を示させてはいるものの、そこで終わってしまう場合があります。しかし、同じ叙述であっても、その解釈は誰も同じであるとは限りません。読むことの指導事項の「工 文学的な文章の解釈に関する指導事項」では、叙述を手掛かりにどのように考えたのか、解釈することが大切です。こうしたそれぞれに考えたことについて発表し合うことで、言葉に対する気付きが生まれ、自分の考えを広げることや深めることにつながります。

【学習活動の例】

情景描写が暗示する登場人物の心情を考える。

○情景が効果的に描かれた部分から人物の心情を考えるとともに、印象に残った表現とその理由をまとめる。



「大造じいさんとガン」から、登場人物の心情が情景を通して、表現されているところを探し、どのような気持ちだったか考えます。その際、どうしてそのような気持ちだと考えたのか、情景描写の中の言葉に着目してその理由も説明しましょう。

※ 何となく想像させるのではなく、情景描写の中の言葉に着目させ、その言葉を挙げながら解釈（理由）を説明させることが重要です。

〔メモ〕

叙述：（例）東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。

↓
解釈

登場人物の心情：



「真っ赤に燃えて」という表現から、大造じいさんの心も空と同じように燃えている感じがするなあ。

〔発表の例〕



僕は、「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」という情景描写には、「大造じいさんの残雪に勝ちたいという強い気持ち」が表れていると考えました。「真っ赤に燃えて」という表現から、大造じいさんの心も空と同じように燃えていると感じたからです。

※ 根拠となる叙述が同じであっても、解釈（理由）は人により異なる場合があります。それを話し合わせることにより、それぞれの考えの違いに気付き、対話が生まれるように指導することが大切です。

【留意点】

場面における登場人物の心情について、自分の考えと、その根拠となる叙述の確認に留まらないように配慮することが大切です。そこで、根拠として示した叙述をどう解釈したのか、叙述の中の言葉に着目させながら説明するよう指示します。児童が相互に意見交流する場を設定するとともに、対話を通して深まった自分の考えをまとめる活動を積極的に取り入れることも必要です。

◇優れた叙述について、注目した言葉や表現についての解釈を示すとともに、その解釈を踏まえ、工夫して音読させましょう。

音読する学習活動においては、「登場人物の心情が伝わるように」とか「場面の様子が分かるように」といった抽象的な指示では、どう読めばよいのか、児童がとまどってしまう場合があります。また、音声言語による表現力にも個人差が見られます。

前時までの学習とのつながりを重視し、注目した言葉や表現を示させるなど、児童の気付きを基にした学習活動にしたいものです。

【学習活動の例】

好きな場面を選び、大造じいさんの心情や場面の様子が伝わるように音読する。

○好きな場面を選び、大造じいさんの心情や場面の様子が伝わるように音読する。



好きな場面を選んで、大造じいさんの心情や場面の様子が伝わるように音読をします。好きな場面を選ぶ際は、「優れた表現」という点から考えましょう。また、音読する前に、選んだ場面やどのように音読するかを説明してもらいます。まず、メモ（下図）に整理してまとめましょう。

〔メモ：説明に入れること〕

- 1 選んだ部分
 - ・ 3の場面で、大造じいさんが、おとりのガンを使った作戦で残雪に戦いをいどむところ。
- 2 選んだ理由
 - ・ 残雪との戦いを前にした、大造じいさんの期待と緊張感が伝わってくるから。
- 3 注目した言葉や表現
 - ・ 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」という情景描写の部分。
- 4 読み方を工夫したいところ
 - ・ 「真っ赤に燃えて」を、大造じいさんの期待と緊張感が伝わるようにゆっくり力強く読む。

〔発表の例〕



私が選んだのは、3の場面で、大造じいさんが、おとりのガンを使った作戦で残雪に戦いをいどむところ。理由は、残雪との戦いを前にした、大造じいさんの期待と緊張感が伝わってくるからです。私が注目したのは、「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」という情景描写の部分です。「真っ赤に燃えて」を、大造じいさんの期待と緊張感が伝わるように、ゆっくり力強く読みたいと思います。

※ 自分のメモを説明した後に、音読を互いに発表し合う活動を行うことで、自分が気付かなかった表現の仕方や工夫などに気付かせることが大切です。

【留意点】

まず、これまで学習してきたことを生かし、「優れた表現」という観点を踏まえて、好きな場面を選ばせるようにします。また、音読を発表する際には、P.18の活動を踏まえ、注目した言葉や表現を挙げさせるとともに、そうした「優れた表現」に対する自分の気付きや解釈、読み方を工夫したい点などを具体的に表現させるようにします。このように、前時までの学習との関連を図ることで、単元を通して身に付けさせたい力の着実な定着に結び付けていくことが大切です。

◇単元のまとめでは、これまでの学習を踏まえて学習課題に取り組みせるとともに、身に付けたことを確認させましょう。

単元のまとめで、これまでの学習を踏まえていない学習課題が設定されていたり、児童がこれまでの学習とのつながりを意識できていないまま学習が進められていたりすることがあります。学習課題に取り組みさせる際は、本時までの学習との関連を図りながら自分の考えをまとめさせるなど、つながりのある学習活動を展開するとともに、まとめたことを交流させることにより、自分の考えを広めたり深めたりすることが必要です。また、学習の振り返りでは、単元全体を通じた学習の成果を確認させ、その成果を今後の学習や生活に生かすよう意欲付けを行うことが大切です。

【学習活動の例】（2時間扱い）

印象に残った「優れた表現」について自分の考えをまとめ、交流した後に学習の振り返りを行う。

○単元を通して学習してきたことを踏まえ、「優れた表現」について考えをまとめ、交流する。

【学習してきたことを踏まえてまとめる際の問い掛けの例】



ここまで、表現に着目しながら、登場人物の心情などを捉えてきました。この時間は、物語の「優れた表現」について、分かったことや考えたことをまとめます。『みりよく新聞』のまとめの部分に、次の〈条件〉に合わせて書きましょう。

じょうけん
〈条件〉

- ・学習してきた「すぐれた表現」の中から、特に印象に残ったものを一つ取り上げ、その表現のよさについて、理由を明らかにして書くこと。（「心情を表す表現」、「動きに関する表現」、「情景をえがいた表現」など）
- ・前の時間の音読を発表し合う活動で、友達の説明や音読を聞いて、気付いたことや考えたことを一つ取り上げて書くこと。

【『みりよく新聞』を読み合う際の問い掛けの例】



作成した『みりよく新聞』を、グループの友達と読み合いましょう。自分がまとめた新聞と比べながら、同じところや違うところなどに注目して読み、分かったことや考えたことなどをノートに書きましょう。

【単元全体の振り返りを行う際の問い掛けの例】



「大造じいさんとガン」の全文を読み返し、自分で見つけた「優れた表現」に青線を、交流によって気付いた「優れた表現」に赤線を引きましょう。何か所、引くことができるかな。

表現に着目すると、想像豊かに読むことができますね。「優れた表現」について、単元を通して学習してきたことを基に、感想と今後に生かしていきたいことをノートに書きましょう。

【留意点】

単元の導入で示した学習活動を踏まえ、まとめの学習を行います。登場人物の心情などを表にまとめる活動や好きな場面を音読する活動などの学習活動を振り返らせ、それらの活動を通して捉えてきた「心情を表す表現」、「動きに関する表現」、「情景を描いた表現」などについて、条件を示してまとめさせます。グループで成果物を読み合う際は、同じ表現を選んだ児童同士、違う表現を選んだ児童同士などで組ませ、共通点や相違点などに注目して読むように指示することで、考えを深めたり広げたりするよう留意します。

振り返りでは、この単元での学習の成果を実感させるとともに、学習してきたことが、今後の物語の学習や読書活動などにどのようにつながるかについて考えるよう促します。

こんなに見つけた！「大造じいさんとガン」のすぐれた表現

「大造じいさんとガン」 みりよく新聞

○年○月○日
発行者
()

「大造じいさんとガン」を初めて読んで印象に残った表現について

「大造じいさんとガン」は、どんな話

いつの話か

どこの話か

主な登場人物

残雪の様子や行動、大造じいさんの心情などがよく表れている表現について

○残雪の様子や行動について

○大造じいさんの心情について

情景描写から考えた「大造じいさんとガン」の表現について

まとめ
「大造じいさんとガン」のすぐれた表現について